はじめに　7

第一部　評伝編

第一章　ビタと呼ばれて――尾上多賀之丞――　14

物干し会談　大芝居と小芝居　宮戸座　役者の子　初舞台
大阪から名古屋へ　声変わり　鬼丸襲名
市村座入座と多賀之丞襲名　不遇の始まり　小芝居嫌い
戦後の差別　低い評価　やさしい多賀之丞　多賀之丞の芸
日常の心がけ　おさすりお兼　無事これ名馬　女優と多賀之丞
健康第一　おさらばでござりまする　最後の多賀之丞
注解

第二章　一時代早かった――尾上菊蔵――　82

菊蔵の悲劇　出生の秘密　江戸っ子ウタ　遅い初舞台
菊蔵襲名　御曹司歌舞伎　嘱望された菊蔵
広報マン菊蔵　襲名　継がない子供たち　尾上菊丸
途切れない家来志望者　菊蔵の無念
注解

第二部　日記編

序章 …… 110
「尾上多賀之丞日記」覚書 …… 126
第一章　昭和三十年代 …… 128
第二章　昭和四十年代～五十年代 …… 228
あとがき …… 370
尾上多賀之丞年譜 …… 372
多賀之丞の金銭メモ …… 376
参考文献 …… 378